

総務文教常任委員会会議録

(閉会中 平成30年11月1日)

長 与 町 議 会

総務文教常任委員会会議録

本日の会議 平成 3 0 年 1 1 月 1 日

招 集 場 所 長与町議会議場（第 1 委員会室）

出席委員

委 員 長 岩 永 政 則

副 委 員 長 分 部 和 弘

委 員 浦 川 圭 一

委 員 中 村 美 穂

委 員 金 子 恵

委 員 喜々津 英 世

委 員 山 口 憲一郎

委 員 堤 理 志

欠席委員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長 谷 本 圭 介

参 事 森 本 陽 子

本日の委員会に付した案件

所管事務調査

小・中学校におけるエアコン設置について

①現在の取組み状況について

②今後の予定（工程）

開 会 9時30分

閉 会 10時46分

○委員長（岩永政則委員）

それでは皆さんおはようございます。定足数に達しておりますので、ただいまから総務文教常任委員会の所管事務調査を開催をしていきたいと思いをします。

本日の議題は、小中学校におけるエアコン設置についてでございます。本日は説明員として教育委員会の職員の出席を求めています。それでは最初に資料の配布もございませぬので、①の現在の取組状況についての説明を求めます。

宮司教育総務課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

皆さんおはようございます。それでは現在の取組状況の説明ということで、説明させていただきます。9月の議会一般質問の中で空調設置の質問が出たのを受けまして、補正予算の方で実施設計の予算を計上させていただきました。その後、昨日、実施設計の入札が終わった段階になります。業者につきましては決定したんですけれども、また落札額等につきましては担当の方から資料等がまだきておりませぬので、落札率等については、まだ公表できないという状況になっております。現在のところ空調の設置状況っていうのは、議会の方でも説明しましたとおり普通教室におきましては、長与南小学校の2教室のみという状況になっております。今回、一般質問の中では、まだ国の補助の申請っていうのはできていなかった状況だったんですけれども、今回、空調とブロック塀についての特別な交付金っていうのが創設されましたので、今回、長与町の方も、そちらの方の申請をさせていただいている段階になります。今回の交付金というのが、普通教室への導入っていうことに対する交付金ということになりますので、長与町の方も普通教室への設置ということで平成31年度の普通教室の数を想定して、現在のところ空調の設置を計画をしている段階になります。まだ詳細な実施設計等が今からになりますので、そちらが上がりましたら実際に工事費とか、工期とか、そういうことがきちんと御説明できる状況かと思いをしますが、現在の段階ではまだ想定っていう段階になっております。ただ、熱源につきましては、検討した結果、電気方式ということで進めさせていただきたいというふうに考えております。12月の補正予算で工事費の方を計上できるように現在、教育委員会の方で調整を進めている段階になります。

お手元の資料なんですけれども、こちらは平成30年5月1日現在の空調設備の設置状況になります。普通教室の方が、小中学校合わせて138教室ありますが、そちらの設置数っていうのが2教室になります。特別教室が小中学校合わせまして133教室あります。設置教室数というのは21教室になります。こちらはパソコン室と図書室が主な設置場所になります。給食室に関しましては、長与小学校にのみ空調が導入されております。単独調理場であります洗切、高田、長与北小学校の3校、共同調理場の方につきましては、現在、空調の方が設置されていないという状況になります。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

それでは説明が終わりましたので、ただいまから質疑を行っていきなりたいと思いをします。

ただいまの入札の状況なり財源の問題ですね、それと工事費については12月議会で措置をするという予定。それから今の現在の空調の設置状況、こういう説明が4点にわたって説明がございましたけども、今の説明に対する質疑を受けていきたいと思います。質疑ありませんか。

堤委員。

○委員（堤理志委員）

2点、お聞かせいただきたいんですけども、今回の国の特別交付金というものは普通教室だけだということですので、調理場については、これは確認ですが町の単独持ち出しという形になるのかっていう点と、それから入札は完了したということでもありますけれども、この入札の前提といいますか、業者に対して資材の調達能力とか、その辺りってというのは一定条件等には含めたのかどうかですね。教育委員会では分からないですか、もし分かれば分かる範囲でお願いしたいと思います。と言うのは、要するに同時期に全国でエアコンの発注が同時にどっと来るんじゃないかということ、そこでその例えば人員とか、空調の設備の不足が生じるんじゃないかという心配するわけですたいね。取ったけどもちょっと間に合わないよということになりはしないかという心配はあるんですが、その辺りについて、この入札の段階で的確に資材を調達できるってというようなものを、何らかの確約的なものを盛り込んだかどうかという意味ですね。以上です、

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

まず、調理場に関しましては、国の補助の対象外となっておりますので、町の単独事業ってということになります。また資材の調達能力というのを今回の入札に加えたかっていう点ですけども、今回が実施設計の入札になりますので、資材の調達能力等については盛り込んでおりません。以上になります。

○委員長（岩永政則委員）

ほかにありませんか。

堤委員。

○委員（堤理志委員）

今回のエアコンの設置ってというのは、小中学校のいわゆる教育委員会の所管する部分だと思っておりますけれども、1点気になるのは、洗切小学校の中で学童の方に2クラスお貸ししてありますよね。そこはもちろん所管は教育委員会じゃないのかもしれませんが、その部屋というのも完全に分離して、何らかの話し合い等々がなされたかどうか、その辺の状況が分かればお聞かせいただきたいと思います。

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

今回の洗切小の学童保育については、教育財産というふうになっておりませんので、切り離しをさせていただいております。洗切小の学童の方には空調設備が設置されているっていうことでお聞きしております。

○委員長（岩永政則委員）

ほかにありませんか。

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

まだ、入札も終わられたばかりで余り説明をされる所も難しいかと思うので、さつき堤委員が聞かれたところで私も普通教室が国の特別の交付金が設定され、それはもうもちろん国の方に申請をしたと、先程調理場のことだけ仰っているので、ここに今、出ている特別教室もありますよね。設置済み以外の教室、これについても当然と言ったらい方が悪いかもしれませんが、今回の設計監理委託の中には特別教室ももちろんそのついてないところについては設置をするということでの委託をしている。国の財源が無いにしても設置するというので考えてよろしいんでしょうか。

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

今回は普通教室についての設置を考えております。特別教室については設置っていうのは考えておりませんが、今回設置する中で、もしかして特別教室として使われる部屋になるかもしれないというのは想定はされますけれども、基本的に教育委員会といたしましては、普通教室の設置を考えております。

○委員長（岩永政則委員）

中村委員。

○委員（中村美穂委員）

そうしますとここに表示をされておりますけれども、今回、設計監理委託もちろん今後の設置については、普通教室と給食共同調理場とか、単独の調理場に関しての設置ということでもよろしいんですね。

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

そのとおりです。

○委員長（岩永政則委員）

ほかにありませんか。

堤委員。

○委員（堤理志委員）

以前、エアコンの問題で財政課の方から国の方が持つてる交付金自体は余り多くない

もんで、採択できるかどうかよく分からないということだったんですが、その辺りはやはり今でもそういう状況なのか。一部の情報によると希望する学校には設置できるようにやりたいというようなことで、国の国会も先日始まったばかりなんですが、その辺りの財源的な状況というのは何か情報を得られているかどうかと、採択の可能性の方はどのように捉えられてるか、お聞かせいただきたいと思います。

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

今回は国の補正予算が空調に関して817億円付くというふうに想定をされておりますので、昨年度よりは予算ベースとしては大きいものになると思いますけれども、そちらが必ずしも今回の長与町の空調設備の採択になるってということに関しましては、はっきり付くということにつきましては言えないというふうな状況になっております。

○委員長（岩永政則委員）

堤委員。

○委員（堤理志委員）

もちろんそれは断言はできないだろうとは思いますが、その可能性としてかなり厳しいという段階から一定可能性が見出せるなというようなその辺りまで来たのかどうかというのが1点と、それからもう1点が今回、補正予算がないとした場合でも、私の手元の資料では、来年度の予算でさらにエアコンの、文科省としてかなりの額の概算要求を出してるみたいなんですが、そっちの方に乗っかるというふうなことも検討されているのかどうか、いかがでしょうか。具体的に言いますと来年度の予算に文科省として2,432億円ほど要求をすると段階だというふうに、ちょっと私の手元の資料で持ってるんですが、そっちの方の活用というのも考えられるかどうか。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

森川次長。

○教育委員会教育次長（森川寛子君）

10月の18日に県議会とそれから県知事の方に、補助金をつけていただきたいという要望に行きました。その際、県の教育長の方から今回の30年度の国の補正予算っていうのが、ブロック塀、冷房設備対応臨時特例交付金ということで、本当に1年限りで新たに創設された、教育長いわく文科省最後の大盤振る舞いではないかというような発言もあっております。ですから一定これで行くのではないかというそういう感触は得ております。万一これが見えなかった場合、来年度のこの交付金という形での申請になるかとは思いますが、そうなった場合には、やはり補助金の申請とかのタイミングとかになると、もう夏までにそれをつけるっていうことがなかなか難しくなるのではないかと考えておりますので、まずは今回の30年度の交付金がつくことっていうところでのスケジュールで我々は今進んでいるということで御了承いただきたいと思います。

○委員長（岩永政則委員）

ほかにありませんか。

喜々津委員。

○委員（喜々津英世委員）

異常気象というのが言われて、それによる酷暑だということですずっと来たわけですが、もう異常気象が異常気象ではないような今状況になってきたわけですね。そうすると、例えば体育館、体育館は避難所にもなってますよね。そうすると、子供たちがスポーツに取り組む部分については必要ないかもしれないけども、避難所だから体育館にも設置せろとか、そういう声が恐らく出てくるだろうと。現段階ではそこら辺についてはどう考えておるのかお尋ねをいたします。

○委員長（岩永政則委員）

森川次長。

○教育委員会教育次長（森川寛子君）

喜々津委員おっしゃるとおり体育館が避難所になるっていう想定は、総務のサイドの方でもされてるかと思えます。その件につきましては、やはり今は教室にっていうところで話が進んでおりますので、今後、体育館での空調設置等がまた問題となってくるかと思えますけれども、今の段階では、体育館についての空調設置は考えておりません。

○委員長（岩永政則委員）

喜々津委員。

○委員（喜々津英世委員）

軽々にどうしますこうしますってのは現段階で言えないとは十分に分かっておるわけですが、いずれそういったものが出てくることもありますけど、これは学校教育とはまた別個問題で避難所の設置とかいうのはまた別問題ですから、そう簡単にいかなとは十分分かっておるんですが、この前の台風なんかでも5か所ぐらい避難所を設けております。それには体育館なんかは恐らく入ってなかったんじゃないかなと思うんですが、指定としては小中学校の体育館とか全て例えば避難所という指定をされておると思うんですよね。ですからやっぱりそういった意味では、そこら辺の将来的な設置に向けての、教育委員会に財政のことを言ってもあれでしょうけども、やはり基金とか、もう1度やっぱり今、教育委員会絡みの基金を全部でまとめましたけども、図書館絡みで、これやっぱりもう一度設置目的、こういったものを目的とした基金、そういったものも必要ではないかなあという気がしておるんですが、教育委員会サイドとしては、そこら辺はどういうふうに思われてるのか、お尋ねをします。

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

確かに災害が起こったときの空調っていうのは、暑さとか寒さとかの対策としては必

要なものというふうに認識はしておりますが、現在、町内にある体育館につきましても屋根ですとか、外壁、床の老朽化がかなり進んでおります。教育委員会といたしましては、そちらの老朽化対策を優先的に実施をいたしまして、まずは児童生徒の授業そういったものの安全性を確保したいというふうに考えております。そちらの工事費の方に今、教育の基金は使っているというふうな状況になっております。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

金子委員。

○委員（金子恵委員）

ちょっとどこまで聞いていいのかが分からなくて質問をできずにいたんですけども、今回の実施検討というか、それに当たっての入札ということで、今後12月補正で工事費を上げる予定ということですが、工事になった場合、この間の補正で上がった分というのは3つに分かれてましたよね。中学校と小学校と南小ということで。今後これが実際に工事ってなった場合に、単独で入札をした方がいいんじゃないかという、今日これが言えるかどうかはちょっと別として、そっちの方が小回りもきいたり業者を多くすることである程度の期間というのを確保できたりということをやったんですけども、そこまでの補正を上げるということをおっしゃいましたので、お答えしていただけるぐらいのところでもいいので、どういう考えなのかをお聞きできればと思います。

○委員長（岩永政則委員）

金子係長。

○係長（金子寛之君）

発注の方法といいますか、契約の方法につきましては、今のところまだ実施設計が終わっておりませんで、各学校ごとの事業費っていうのがまだ固まっていない状況ですので、今の時点でどういった契約方法がいいのかっていうのは結論は出ていないところなんですけど、発注する段階で事業費であったり、業者の受注能力であったり、あと早期の完了を実現させるためには、どのような形がいいかっていうところを再度検証して契約の形っていうのを固めていきたいと思っております。

○委員長（岩永政則委員）

金子委員。

○委員（金子恵委員）

今お答えいただいて、これからの検討ということですけども、それまでの検討をする、設計をするというんですかね、っていうのは教育委員会の中である程度、こういうことで入札をしてもらうというところまでの計画を立てられると思うんですけども、その専門的な知識っていうのを集結してくださいと言うしかないんですけど、そちらの方での専門的知見っていうのは、教育委員会の中で十分なのか、そこら辺は私たちが心配することではなくて、今一生懸命、教育委員会の方でされてることなんですけども、十分にそういうふうな知見の活用じゃないんですけど、設計を行って欲しいなという気持

ちがあったので、これはもう要望として答弁は要りません。

○委員長（岩永政則委員）

山口委員。

○委員（山口憲一郎委員）

私もどこまで聞いたらいいのか分らんとですけど、私の心配しているのは、財源もですけど、学校が全体的に、一斉に取り組むわけじゃなかですか、そうした場合にやっぱり財源はできたけど、材料や機具が入らないっていう心配があるんですけども、やっぱりその辺は早目早目に先手先手で計画をしていただいて、そうせんと今年の夏まで間に合うのかなっていうちょっと心配があるもので、もしそれに対する答えがあれば言っていて欲しいですけども、なかったら別にいいです。私の心配です。

○委員長（岩永政則委員）

金子係長。

○係長（金子寛之君）

おっしゃるとおり機器の数が不足するのではないかという心配は確かにございます。やはり全国的に同じような動きをとっている自治体はかなりあるかと思っておりますので、まず機器の心配がございます。あとは実際に施工する職人が不足するのではないかっていう心配もございますけれども、町としても少しでも早い動きができるように設計の段階から早期に工事の契約できるように今、動いているところになっております。

○係長（金子寛之君）

堤委員。

○委員（堤理志委員）

同僚議員から専門的知見を活用して欲しいということでお話がありました。先日、他自治体の議員がいろいろその辺りを調査してるのをちょっと私もインターネット上で見させてもらった中で、例えば窓ガラスを熱線を反射するガラスに入れ替えた場合に、かなり室内に入ってくる熱量を減らすことができるとか、あるいは、扇風機を使っていますよね、扇風機も一定効果あるんですけども、サーキュレーターと言って室内の空気を循環するものも同時に活用することで、エアコンのワット数を落とすことができるんじゃないとか、いろんな調査をされてる議員がいらっしゃったんですけども、要するに、本当の目的はやっぱり30人なり的小朋友さんがいる教室の室温を快適に勉強できる温度に下げることが目的なので、エアコンに限らずエアコンとそういったほかのものをミックスさせることによってコストを落とすとか、いろんなことが考えられるんだっていうのを私もそのときにちょっと思ったんですけども、ちなみにそういう検討しているのがなされたとは思いますが、その辺りの状況というのはいかがでしょうか。

○委員長（岩永政則委員）

金子係長。

○係長（金子寛之君）

窓ガラスで遮熱効果を発揮したり、サーキュレーターで温度を下げるっていったいろんな方法も、空調設置で温度を下げるっていう意味ではあるかと思うんですけども、そういった意味も含めて今回の実施設計の中で、建築設計事務所に委託をするという形になっておりますので、建築士の専門的な視点を活用させていただきながら、なおかつ長与町としての要望、コストをなるべくかけずに最大の効果を発揮できるような方法で積算、設計を組んでいただくっていうところでお願いをしていこうと思っております。

○委員長（岩永政則委員）

分部委員。

○委員（分部和弘委員）

1点お伺いいたします。夏までに今設置の予定ということで進んでるといふふうに思いますが、春先から夏前までっていうことであれば、中国大陸からの黄砂あるいはPM2.5、春先になればアレルギー性を持つ花粉症のお子さん等おるかなというふうに思っております。そういった中でこれまでそういった春先関連でそういった状況が影響を与えて窓を閉めた実例っていうのはあるものか、そこら辺をちょっとお伺いしたいというふうに思います。

○委員長（岩永政則委員）

金崎理事。

○教育委員会理事兼学校教育課長（金崎良一君）

お答えいたします。まず花粉症等アレルギーについての対応ということで窓を閉めているということについては、これまではございません。本年度、昨年度につきましては、5月の初旬です。本年度5月11日だったというふうに記憶をしております。昨年5月8日か9日だったというふうに思いますが、この日にPM2.5が基準値の35ミリを超える日がそれぞれ1日ずつございましたので、その前後につきましては、影響のない範囲で窓を閉めるというふうなことでの指示を出しました。以上でございます。

○委員長（岩永政則委員）

分部委員。

○委員（分部和弘委員）

春先5月ゴールデンウィーク付近といえば気温も上がってくるのかなというふうに思います。私たちもマイカー運転してればエアコンを必然的につけて快適な環境で運転してるのかなというふうに思いますし、そういった密閉された教室の中でも、そういった意味では閉めれば自然と気温も上がってくるのかなというふうにありますので、要望になりますけども、夏前じゃなくてもうちちょっと早目にできる範囲でやっていただければというふうに思っております。

○委員長（岩永政則委員）

いいですか。2点目の今後の予定を含めて一括して質疑を受けたいと思います。
堤委員。

○委員（堤理志委員）

もちろんこれは予定で相手様もあることなので断定的なことは言えないというのは重々承知で、あくまでも計画ということで理解したいと思うんですが、町として実施スケジュールですね、夏前までって言いますけど、いろいろパターンがあると思うんですけども、うまくいけばどのくらいまでに工事が完了できる可能性があるということでも結構なんですけれども、教育委員会としてどういうスケジュールを今、念頭にこういけばいいなというふうに考えてらっしゃるかどうか、ここはいかがでしょうか。

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

実施設計への入札が終わりましたので、今後は契約事務等を踏まえまして大体1月末までに設計を終わらせる計画でおります。そのあと実施設計が上がりましたら今度は工事の入札の準備にかかりたいというふうに考えております。その後、実際に業者を選定いたしまして入札を行い、工事費が大きくなりますので、また議会に契約について上程をさせていただかなければいけませんので、議会の上程議決を経まして、実際の契約を行って工事に入りたいというふうに考えております。議会の議決が3月議会でするように、今、日程の調整を行っている段階になります。議決後に工事に入っていきます。大体今のところ工期は5か月を想定しております。ですので、工期的には8月までを想定しております。でも、こちらあくまでも想定になりますので、できるだけ早い時期での設置に向けて努力を行っていきたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（岩永政則委員）

金子委員。

○委員（金子恵委員）

実はここに来る前に町内のエアコンをつけるのが専門の業者ではないんですけども、商工会関係の方でちょっとお話をすることがあったんですけど、機器不足とか職人不足という話が先程ありました。なぜその8校を単独、別々にした方が良いつて言うのは、現場でいろんな工事とかをしている方から言わせると、やっぱり人夫不足になるっていうのと、1つの会社が2つとか、3つとかをした場合に教育委員会から出されたスケジュールが重なるとそこに2チーム作らないといけない。3チーム作らないといけないということが出てきて、そうなるとなかなか自分たちの本来の仕事というか、別の仕事を受けられなくなるというデメリットも出てくるっていう話をしたんですね。ですからそういうことも実施設計の、今回入札された方どこか分からないんですけど、そちらの方からのいろんな御意見もあるかもしれないんですけど、そういう専門的知見と言ったらなんか上から感じますけれども、実際にその仕事をされる方たちのデメリットとか、こういうふうに進めた方がいいよっていう教育委員会の中でのスケジュールの組み方、設計の段階で話を聞いてはどうかということだったんですけども。質問にならないん

ですけど、想定されてるか、予定されているか、考えているかというところでちょっとお聞きできればと思います。

○委員長（岩永政則委員）

金子係長。

○係長（金子寛之君）

契約の発注方法につきましては、実際そういった職人とか、実際に現場の会社、業者の状況とかもあるかと思しますので、今後実施設計をする中で額であったり、どういったやり方になるかっていうのを見えてくる中で、そういった発注方法っていうのも、そういった御意見も踏まえてどういった形で1番発注した方がいいのかっていうのをもう少し時間がありますので、そういったものも各業界の方とかのお話とか、そういったのも参考にさせていただきながら発注方法っていうのを決めていきたいと思っております。

○委員長（岩永政則委員）

ほかにありませんか。

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

今、発注の方法までいろいろ聞かれよごったですけど、設計委託の発注は、どがんされとつとですか。例えば小学校まとめて1つの設計、中学校まとめて、南小の調理室を1個とか、3本ぐらいでされてるのか、そこをちょっと。

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

議員がおっしゃるとおり3本で発注を行いました。

○委員長（岩永政則委員）

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

そうなる、それぞれの実施設計委託について設計書が上がってくるわけですよ、実施設計書が。それに基づいて発注するとなると、当然、契約は3つしか出てこんわけでしたいね。それを今言われるように各小学校ごとに発注をせろとかちゅう話になると、また上がってきた設計をばらして1校ずつまた組み直さんといかんわけです。1校ずつの設計書に仕上げんばいかん。そうせんと入札かけられんわけですから、だから当然その町内業者に行き渡れば1番良いんでしょうけども、やっぱり後々器具の納入とか、職人の手配とか、一定まとめて発注されるとなると、ある程度大きい会社が工期とかも考えながら受注をされるんでしょうから、そっちの方がいいのかなと話を聞いてって思ったところなんですけど、あと、12月に工事費の補正を上げると言われたんですが、先程の説明で1月末に設計が上がると、この12月の補正については、ある程度概算で上げるといことなんですか。

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

12月の補正につきましては、概算で工事費を計上する予定です。

○委員長（岩永政則委員）

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

工事の工期に関係してくると思うんですが、未契約かなんかで繰り越し承認も合わせて上げられるのか。12月に補正を上げて、それに付随する繰り越しのセットで上げとけば年度を超えて工事の発注はできると思うんですね。そういうこともされるのかどうか、そうせんと繰り越しをやってないと、例えば2月頃発注して1回3月で工期を切って3月議会でまたこの繰り越しの承認の議決を上げんといかんというようなそういうことになるかと思しますので、そこら辺を今後の予定でどう考えておられるのか。

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

繰り越しの承認をどの段階で上げるかにつきましては、今後、検討させていただきたいというふうに考えております。

○委員長（岩永政則委員）

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

是非、あとあとやりやすい方法で考えられてやっていただければと思います。

○委員長（岩永政則委員）

堤委員。

○委員（堤理志委員）

先程、お聞きした中で工期が4月から8月までということで予定をしたいということだったと記憶してるんですが、よく考えてみると7、8となるとまさに1番懸念される期間になりますよね。ですから教育委員会としても、もし可能なら4月から6月ぐらいまでにもうまくいけば、そうすれば非常に良いと思うんですが、この7、8っていうのが、もう変わらざるを得ないという判断なのか、それとも少し余裕を見て7、8と言われたのか。この辺りは率直なところどういうふうになるものなのか。まだ、もちろんまだ計画段階なので断定的なことじゃなくて結構だと思うんです、いかがでしょう。

○委員長（岩永政則委員）

金子係長。

○係長（金子寛之君）

工期の想定というところなんですけれども、今分かっている範囲の中では、どうして

も内部の機器、室外機の機器の設置だけの工事ではなくて、周辺の変電設備の改修とか、そういったものも絡んでくるもので少し余裕を持って、最後の検査が終了するまでという意味では4か月とか5か月ぐらいを今のところは想定しているんですけども、それも実施設計が上がってくる中で、どういったやり方がいいのかというのが決まってくる中で、工期の設定も若干変わってくると思っておりますので、早期になるべく早く稼働ができるような設計の組み方っていうのをお願いしていきたいと思っております。

○委員長（岩永政則委員）

質疑ありませんか。

質疑が無いようですので、私の方から質疑をしたいと思いますので、委員長交代をさせていただきます。

○委員（分部和弘委員）

委員長交代します。

岩永委員。

○委員長（岩永政則委員）

ちょっと順を追って質問をしたいというふうに思うんですが、昨日、実施設計の入札が終わったということのようですが、この設計の起工はどこでされたんでしょうか。

○委員（分部和弘委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

教育総務課の方で起工を上げております。

○委員（分部和弘委員）

岩永委員。

○委員長（岩永政則委員）

技術者もいないはずなんですけども、他の所管にはいろいろ技術者がおられますね、経験者もおられるわけです。そういう人達の声や、あるいは指導を受けてされたのかどうか、どうでしょうか。

○委員（分部和弘委員）

金子係長。

○係長（金子寛之君）

設計委託の起工を準備するに当たっては他の部署の土木関係の職員の方に相談をさせていただいたり、アドバイスをいただいたりという中で作業を進めて起工を作成したところでございます。

○委員（分部和弘委員）

岩永委員。

○委員長（岩永政則委員）

十分その辺りは職員の中で、庁内の中でそういう技術者がおられますので、担当教育

総務課に今せざるを得ないようになってくるようですので十分そういう活用というか、協力を十分された方がいいんじゃないかというふうに思いますので、その無いようお願いをしておきたいというふうに思います。先程の質疑の中で特別教室が入ってないということで、ちょっとびっくりしたわけなんですけども、今回入れるならばその補助もできたんじゃないのかというふうにも思うんですが、ただ、新聞報道等首相の発言からいけば普通教室をするという、そういう考え方があったようで理解はするものの、私は特別教室というのも当然今後は必要ではないかというように思うんですけども、その辺りの対応の考え方はどうなんですか。

○委員（分部和弘委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

今回、普通教室について空調を設置するっていうふうに計画を立てております。特別教室の方につきましても本来入れるっていうことの方が、教育環境の整備につきましてはどちらも入っているっていうのが1番だと思いますけれども、事業費等を計算いたしましたところ現在のところは普通教室を最優先で入れるっていうことで、計画を進めているということになります。以上です。

○委員（分部和弘委員）

岩永委員。

○委員長（岩永政則委員）

分かりました。今後十分検討していくべきだろうと、体育館の問題も出ておりましたけども、そういうふう思うんですが、次に皆さん方も見ていただいたというふうに思うんですが、10月16日付けの新聞に長崎市が業務設計委託を入札をやって、そして松林建設設計事務所とはっきり書いてありますので申し上げますけども、ここが落札をしとるんですね。ただ、昨日どこが落札したのか、まだ私も見ておりませんが、その落札業者が辞退をしておるんですよ。実施設計を辞退したんですね。落札してからですよ。それはなぜなのかと言いますと、空調設備実施設計業務委託の入札ということで、同じようにされたというふうに思うんですが、監理技術者の技術者の要件を満たすことができない理由から契約を辞退したということが事実あっておるんですよ。10月16日の新聞ですから15日か14日か知りませんが、今月の話なんですよ。そういうことで本町の場合もいよいよ私新聞を見まして入札を行うわけだから、そういうことが無いといいなというふうに思ったんですが、逆に言いますと指名をして入札をする業者のチェックが、逆に市役所の方が発注者側のチェック漏れじゃないのかということも私は思ったんですよ。そういうその技術者の資格要件を満たすようなものがなければ、実施設計を指名業者するはずがないわけですね、その辺りチェック漏れじゃなかったのかと逆に私は経験上から思ったんですけども、そういうチェックをしたり、あるいはそういう想定が私はなければいいなというふうに思うんですが、事前のチェックというの

は、この長崎市の事例を見てどのように担当は考えてますか。

○委員（分部和弘委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

今回の業者選定に関しましては、小学校と中学校の実施設計に関しましては、指名審議委員会の方に業者の選定をお願いしております。そちらの方で選定をされた業者につきまして、今回、指名の方をさせていただいております。確かに松林設計につきましては、今回、新聞報道等もあっておりましたが、うちの今回の要件に監理技術者の要件っていうのは入っておりませんでしたので、そのまま指名業者としては入っております。

○委員（分部和弘委員）

岩永委員。

○委員長（岩永政則委員）

いや私が言うのはそこが入っておるのか、入っていないのかを聞いたわけじゃなくて、そんなことは私は聞いておりませんし、毛頭念頭にもないんですね。ただ、こういう設計業務を落札をしたにもかかわらず辞退をするような事態が出るということですから、そういうことがあってはいかないわけですね。例えば、そういうのが想定されると例えば今回も長与の場合も明日、明後日、辞退するかも分からんなんていうのは、そういう指名の仕方をしてないはずなんですね。だから私は長崎市の場合はその事前チェックが漏れとったんじゃないかと、私はそのようにこう思ったんですけども、これ以上もう申し上げませんので落札業者が辞退に及ぶようなことがないように願っていきなというふうに思うんです。それと先程の質疑で私も聞いておったんですが、小学校一括、中学校一括、調理場一括、3本で行くというそういう話は前からあっておまして、今質疑でもあったんですけども、設計で発注しておればその3本で設計は上がってくるわけですよ。そうしますと先程の金子係長の答弁では今後検討しますと、そういうことにはなり得ないと。3本で上がってきたら3本を発注するわけでしょう。3本で入札会をするわけ、設計はそれですからね。だから発注の検討をする余地はもう無いわけですね。3本でしか来ないわけです。それで小学校の場合5校ありますので、5校はそれぞれの設計はそれぞれの学校の設置場所、状況、そういうものを踏まえながら設計を積み上げていくはずなんですよ。洗切なら洗切をずっと積み上げ、南小なら南小を積み上げて、そして1本の5校の合体したものを設計額として設計をしていくはずなんですよ。私の想定では。そうすると小学校は1本ですから、それを持って入札会を執行していくわけですね。そういうことですからばらばらにして、例えばそれを各校に分けてやるとか、そういうことにはなり得ないというふうに私は思うんですよ。先程の答弁では何か分けてするような今後検討しますなんて発言がございましたが、私はありえないんじゃないかと思うんです。確認の意味で答弁願います。

○委員（分部和弘委員）

金子係長。

○係長（金子寛之君）

設計の作成に当たって、まとめて設計を組んでもらうのか、学校ごとに設計を組むの
かっていう中で、今回お願いしている設計の仕様の中に各学校単位で設計書を作ってい
ただくっていうことを要件として入れております。ですので、出来上がった形としては
各学校単位でも発注できることも可能ですし、例えば2校ずつでもできますし、まとめ
てっていうのも選択肢として考えられるような形での委託を予定しております。

○委員（分部和弘委員）

岩永委員。

○委員長（岩永政則委員）

それじゃ最後になりますけども、先程設計が1月に終わると言いましたかね。実施設
計が1月末だというような話で先程、浦川委員もちょっと疑問に思われたと思うんです
が、私も疑問に思いまして、先程の質疑で分かったんですが、概算で12月に組むと。
本来はもう1月なら1月で上がってきたらそれをもって補正にかけると、ぴしっとした
根拠を実施設計の予算を組んで発注をするわけですから、その結果を持って補正予算
なら補助予算を組むわけですよ、本来は。それが概算なんてあり得ないわけですよ。し
かしながら、それも1つの方法かもしれません。理解はするわけですけども、私の言い
たいことは一般質問でも出て申し上げたんですけども、他の議員もそういう発言があり
ましたけども、8月という表現が私にはよく理解できないんですよ。もう6月、7月にな
るとこれは学校の現場を考えますと金崎理事が1番御存じだろうと思うんですが、8
月になると学校休みなんです。だから一般質問のときも他の議員も発言しておられま
したけども、できるだけ工期を短縮してでも6月までには上げるような努力をやっぱり
していくべきだと、それだけのお金を掛けてするわけですからね。そういう考え方で
できるだけの実施設計も1月と言われたから1月だと、そうじゃなくして工期を短縮した
りあるいは12月に補正をかけてすぐ1月には発注できるように。議会の議決を3月と
いうような発言がありましたけど、そんな悠長なことじゃなくしてできるだけ早目早目
に発注をして、やっぱり目標を6月末なら末に置くぐらいの覚悟を決めて取り組んでい
くべきだというふうに思うんです。その辺りはどうですか。

○委員（分部和弘委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

委員おっしゃるとおり、できるだけ工期につきましては、早い段階でできるように現
在、努力をしておりますので、そちらも念頭に入れながら早急な空調設置に向けて努力
をしていきたいというふうに考えております。以上です。

○委員（分部和弘委員）

委員長を交代します。

○委員長（岩永政則委員）

それでは委員長を交代しましたので進めたいと思いますが、ほかに質疑ありませんか。
浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

先程、辞退の話が出ておりますけども、入札の結果については、まだいろいろな言えないということなんです、今回1月までの工期かなと思うんですが、そういった状況の中で今回の入札で辞退をされた業者っておられるんでしょうか。

○委員長（岩永政則委員）

宮司課長。

○教育総務課長（宮司裕子君）

実際にまだ入札の結果っていうのは、いただいてないんですけども、辞退の方はいないと聞いております。

○委員長（岩永政則委員）

浦川委員。

○委員（浦川圭一委員）

分かりました、先程岩永委員の方から1月の設計の成果を見て補正あたりも対応するという話もありましたけども、そういうふうな話になると、どうしても私はもう間に合わないと思いますので、先程3月の議会に上程するというのは恐らく契約の話だと思うんです。だから12月議会で補正を上げてこれは概算でやむなしことだと思っているんですが、上げられてその後この実際に実施設計を基にして発注をされて恐らく2月中ぐらいに仮契約をされて、それを持って3月議会に上程をされるのかなというふうに思っておりますので、それでどうにかやっぱり議員の皆さんも来年の夏前までにということ強く言われておりますので、そこら辺やっぱり優先すると、どうしてもやっぱり早目早目で12月の補正は概算でもやむなしことを思っておりますので、是非そういう工程で進めていただければと思います。よろしくをお願いします。

○委員長（岩永政則委員）

ほかにありませんか。いいですか。それでは以上で質疑を終了をしたいと思います。

以上で、本日の所管事務調査を終了いたします。

執行側の皆さん方お疲れ様でした。ありがとうございました。

委員の皆さんに最終的な確認をしたいと思うんですが、今回の所管事務調査については、本日をもって全部終了するということで異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

それでは本日をもって終了といたします。

以上で閉会をいたします。

（閉会 10時46分）